

発達障がい者支援施策について

次世代サポート課

1 目的

発達障がいの早期発見・早期支援、診断体制を整備するとともに、支援に携わる人材の育成や支援関係者間の情報共有と連携体制の構築により、乳幼児期から成人期まですべてのライフステージにおいて切れ目のない一貫した支援体制づくりを推進する。

2 事業内容

施策の柱	事業内容
すべての教員や各種相談担当者の基礎的知識と対応力向上	○発達障がいサポート・マネージャー配置事業（次世代サポート課） ・全年代・分野にアドバイス等ができる専門家を10圏域に配置
	○地域の中核となるコーディネーター養成研修事業（特別支援教育課） ・通級指導教室担当者や地域の中心となって特別支援教育を進める専門性の高い教員の養成
	○発達障がいのある子ども・若者の教育相談支援事業（次世代サポート課） ・私立高校等へ専門相談員を派遣し相談支援を行うとともに、教員へ支援のノウハウを提供
発達障がい者やその家族に対する周囲のフォロー体制の充実・理解の促進	○発達障がい者支援センター事業（次世代サポート課） ・専門的研修の実施 ・ペアレント・メンターの養成 ・発達障がいサポート・マネージャーの養成
	○発達障がい者支援体制整備事業（次世代サポート課） ・発達障がい者支援対策協議会を開催し、発達障がい者に適切な支援を提供できる支援体制のあり方について検討
	○「発達障がい支援力アップ」出前研修（特別支援教育課） ・学校等からの要請に応じて、発達障がい児の理解促進や学習支援等に関する校内研修に講師を派遣
	○市町村発達障がい者支援体制強化事業（次世代サポート課） ・圏域の障害者総合支援センターに配置する市町村サポートコーチ（12人）による情報共有ツールの普及 ・地域における支援体制の強化
	○発達障がいのある子ども・若者の教育相談支援事業（次世代サポート課）（再掲） ・自立、進学等に向けた助言を行うための教育相談窓口の設置、運営
診療体制の更なる充実	○発達障がい診療地域ネットワーク整備事業（保健・疾病対策課） ・発達障がいの中核的な診療機関から専門家の現地派遣等を行い、圏域ごとに診療連絡会を開催
	○発達障がい診療人材育成事業（保健・疾病対策課） ・信州大学医学部に委託して「子どものこころの発達医学教室」を開設し、発達障がいについて診断できる医師を育成し、地域の診療体制を整備